05 地域コミュニティ活動

北海道乙部町　長尾　寛

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
北海道乙部町
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

東京で暮らしていたのですが、いつかは地元に戻って地元の為に出来る仕事をしたいと考えていました。コロナウィルスの感染拡大をきっかけで、仕事を退職し、地元に戻ってきました。

今後の抱負・任期後の目標

現在行っている活動を続けながら、他の道南地域の協力隊と連携し、乙部町、道南全体で移住、定住、交流、関係人口増加に繋がるような活動をしていきたいです。

活動内容

●見守り・配食サービスの実施

一人暮らしの高齢者を対象した見守りや配食サービスを実施している。

●モルックの普及活動

障がいの有無に関わらず、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方ができるスポーツとして近年注目されているフィンランド発祥のスポーツ「モルック」を健康づくりの一環として普及させる活動を行っている。

また、今年度より地域の方々と一緒に「乙部町モルック協会」を立ち上げ、大会を開催するなど、地域の方々と一緒に交流を深め、モルックの普及活動に努めている。

●任意団体「to be O market」によるイベント活動

町内の農家や事業者などの有志が集い、地域を盛り上げる活動を行っている任意団体「to be O market」（トゥービーオーマーケット）のメンバーとして、地域を盛り上げる様々なイベントを開催している。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））h.nagao53@bz04.plala.or.jp
（電話番号（職場））080-8293-9923

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/otobe.ciikiokoshi/

山梨県　都留市　宇田川絵里香

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
東京都調布市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R４.６～R７.５

協力隊に応募したきっかけ

幼少期から引っ越しや観光などで様々な土地を訪れることや、都市と田舎の里山のどちらにも住んだ経験があります。自然を身近に感じられ地域との関わりを持てるライフスタイルを確立したいという想いや、自身が地域活性に貢献できる仕事や活動ができることを理想としていた経緯があり、地域おこし協力隊募集に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後も学びや気づきを得られる機会を作っていくことや地域の様々な分野で活躍されている方と連携したプログラム運営にもチャレンジしてみたいと考えています。
所属している(株)つるでつながるのビジョンに共感しているため、大人も子どもも共に育ち合うまちを都留市の魅力である豊かな自然や個性豊かなプレイヤー、大学生など幅広い人々とつながり合いながら形にしていくことが今後の目標です。

活動内容

●コワーキングコミュニティの運営

地域の交流センター内コワーキングスペースの利用受付やイベントの企画運営を行っている。ただの作業場ではなく地域の人と学生と移住者をつなぎ、新たな仕事を生み出し、仲間どうしで共有しあう。そんな交流の拠点をハブに様々な人と人がつながり合うことを大切にしています。

●地元大学生と連携した企画運営

活動拠点のすぐ側にある都留文科大学の学生をインターン生として受け入れており、学生が将来の働き方や生き方の選択肢と可能性を広げるきっかけとなるようなイベントや移住者インタビュー記事の作成などを共に企画・運営している。例：ゆる～く将来について考えよう／国際協力のお仕事を知ろうなど。

●ママフリーランス養成講座

活動を通じて在宅で仕事がしたい、自分の持つスキルを活かしたはたらき方がしたいと考える子育て中の方がいらっしゃることを知り共に成長しあえる学びの場・コミュニティを運営。フリーランスとして仕事をしていくための基礎づくり、実践を始める機会を提供しています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））erika.uda@tsuru-tsunagaru.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/teraco_tsuru/
https://note.com/tsuru_tsunagaru/
https://tsuru-mikke.com/

石川県羽咋市　久郷 愛

⑤ 地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
52歳
【出身地】
富山県富山市
【転出元】
富山県富山市
【前　職】
医療事務派遣社員
【活動時期】
R4.11～R7.3
（任期満了予定）

協力隊に応募したきっかけ

美術大学で現代工芸を学んだあと、関東圏で就職。30代後半にふるさと富山県にUターン。旧友の誘いで飲食業に就き、のめり込むように食の現場を楽しみながら経験を積む。私たちが口にする水や食材の質、生育歴の良し悪しに関心を持つようになり、オーガニック、有機栽培、自然栽培を学び始める。羽咋市は自然栽培に力をいれており、自然農でビジネスを実践する友人の紹介があって協力隊に応募。

今後の抱負･任期後の目標

現在在籍している鹿島路町には西洋蜜蜂・日本蜜蜂の養蜂家がおられ、非加熱の天然蜂蜜を採取し販売されている。単花蜜の採取拡大に向け、遊休農地を活用し完全無農薬の花畑の育成や植樹を計画されている。オーガニックを軸とした考え方に深く共感を覚え、養蜂の補助作業など教わりながら開始。並行して他県のクラフトミード業者にOEMでオリジナルミードの製造企画を持ち込んでいる。企画を叶え任期後の独立の契機としたい。

活動内容

町会事業1 紅はるか栽培と加工品販売

令和3年度に開始の町会が取り組むサツマイモ事業。協力隊1年目（令和4年度）秋の収穫作業が初仕事。紅はるか品種の道の駅での店頭販売開始と、加工品としてサツマイモの甘酒、鹿島路産りんごの甘酒、焼き菓子など露店営業のスタイルで提供を行う。パッケージデザイン・ロゴデザインなども手掛ける。

町会事業2 紅はるか栽培に農機導入

協力隊2年目（令和5年度）サツマイモ事業に農業機器を導入するため、クラウドファンディングを立ち上げ目標額を達成した。本年度の収穫作業に導入が間に合い稼働開始。作業効率が格段にあがり、人員削減に一役買った。

鹿島路産蜂蜜をつかったミードの商品開発を目指す

他県にあるクラフトミード工房見学時の様子。鹿島路町の養蜂家オーナーの協力のもと、OEMによるオリジナルミードづくりの企画進行中。各道の駅・レストラン・酒屋への営業はじめ、ふるさと納税品の登録を目指す。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）kugohagi@gmail.com
電話番号（個人）　090-5178-4029

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

@KASHIMAJI_ANTENNA

奈良県奈良市　寺尾　志保

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
神奈川県大磯町
【転出元】
神奈川県大磯町
【前　職】
観光　イベント運営
【活動時期】
R3.9～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

任用前より何度か奈良市へ訪れる機会があり、地域に対して親しみや魅力を感じおり、地域の課題解決や魅力発信に貢献したいと考えていた。
その中で、自身が得意としているフィットネス活動やイベント運営を通して、地域内の高齢者の見守り活動や、活動サポートを実施することで、貢献につながると考え本地域へ応募した。

今後の抱負･任期後の目標

・地域の方が老若男女問わず、気軽に集まれるコミュニティの場の創出

・スポーツクラブ・フィットネススタジオ等の運動を行える施設の設立及び運営

・他地域のイベントに参加し、奈良市東部地域のＰＲ発信活動

活動内容

●高齢者見守り活動

地域内の集会所、公民館を利用した高齢者の見守り活動を企画・運営。
自身の取得資格を活用し、高齢者の健康増進運動を中心としたプログラムを実施している。その他、地域の方が気軽に集まることが出来る文化イベントを主催し、コミュニティ構築に取り組んでいる。

タオルを使った運動

●地域の観光素材の強化

各種イベントに参加し、地域の方とのコミュニケーションを深めるとともに、運営のサポートを行っている。
イベント参加を通して、観光資源の魅力発信や、自身のフィットネスプログラムと連動した企画を立案・実施することで、更なる素材の強化を図っている。

イベントPR活動

●オンラインツールを活用した情報発信

・ＳＮＳを活用した地域イベントや観光資源のＰＲ活動。

・zoomを使用したオンラインフィットネス講座の実施。
→場所や時間に関わらずイベントに参加できる環境の整備。

オンラインでの介護予防教室

連絡先

【連絡先】
奈良市東部出張所
mail: toububr@city.nara.lg.jp
TEL: 0742-93-0001
【SNS 活動報告】
Facebook　https://www.facebook.com/narachiikiokoshi
す・とうぶ　https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/31/10562.html(広報紙)

岡山県矢掛町　橋本　宜幸

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
広島県福山市
【転出元】
広島県福山市
【前　職】
牧場勤務
【活動時期】
R5.5～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

元々、6次産業に関心があり地元の畜産会社に入社しましたが、企業規模が大きく生産にしか携われない状況が続いていました。そこでもっと小規模で個人が生産から加工、販売まで関わることのできる仕事を探しているときに知人から地域おこし協力隊の制度について教えてもらい、大学時代を過ごした岡山県の中で、６次化に関わる募集をしていた矢掛町に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

限られた時間の中で活動するにあたり、無理に新しいことを始めるのではなく今ある生産物や伝統を活用した特産品作りに取り組みたいと考えています。
特に活動拠点である水車の里フルーツトピアの名前にもある水車を使用した特産品を作ることが目標です。

活動内容

●水車の里フルーツトピアの管理運営

水車の里フルーツトピアという体験農園の管理運営に参加させていただいています。
フルーツ狩りや各種イベントの案内や事務作業、環境整備に加え、自身の企画したイベントを開催することもあります。

●水車の里農園で農作業

水車の里フルーツトピアに併設される農園では苺や葡萄、梨などを始めとする農産物を育てています。植え付けや剪定、収穫など様々な仕事を体験して勉強しています。

●商品開発

水車の里農園を含む矢掛町の産品を使用した商品開発を行っています。
水車の里のある矢掛町車谷という地域では、その昔10を超える水車小屋があったそうです。今では使われなくなった水車を活用した商品を作りたいと思っています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）hashimotoyakage@gmail.com
（電話番号）　0866-83-3423
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
個人　(Instagram)　@hashimoto9820
矢掛町(Instagram)　@yakage_chiikiokoshi

高知県四万十町　井上　佳奈

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
埼玉県鴻巣市
【前　職】
食品メーカー研究職
【活動時期】
R3.2～R6.1

協力隊に応募したきっかけ

自分のキャリアを見つめなおす中で、より自分が心地良いと思う環境で、ライフワークとなるような仕事をしたいと思うようになった。特に、地域と密接に関わる仕事に興味があり、調べている中でたまたま地域おこし協力隊の制度を知った。地域づくりの活動をしながら、地域資源を活用して起業を目指したいと思い、応募を決意した。

今後の抱負・任期後の目標

・これまで地域で行ってきた活動を、地域に定着させられる形にしていきたい。
・地域資源を使用した商品開発を進め、地域の食材の活用と地域の認知度アップに貢献していきたい。

活動内容

●地域内の交流促進とチャレンジの場作り

地域の規格外食材の販売をメインとしたマルシェを定期的に開催。マルシェでは、地域の住民や小学生が、手作りの飲食物や物品の販売なども行う。地域でのイベントが少なくなる中で、地域住民同士の交流の機会となっている。また、出店を地域住民から募ることで、お菓子や物品を販売をしてみたいという地域住民のチャレンジの場となっている。

●地域について考えるワークショップの開催

高知大学地域協働学部の先生を講師に招き、地域住民と地域づくりについて考えるワークショップを開催。地域づくりについての考え方や進め方、他地域の事例を学びながら、参加していただいた高知大学の学生と役場職員、地域住民の方で、地域が目指していく姿を改めて考える機会とした。

●特産品のショウガを使用した商品開発

四万十町はショウガの生産量が日本一であり、地域では、ショウガを練りこんだかりんとうが食べられている。現在、このお菓子をベースとし、より多くの方に受け入れられる商品づくりを行っている。四万十町の特色あるお菓子として、より多くの方に食べていただくことで、この商品を通じ、特産品の活用と四万十町の魅力を伝えていきたい。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））103050@town.shimanto.lg.jp
（電話番号（職場））0880-22-3124
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
四万十町地域おこし協力隊facebook
https://www.facebook.com/towakyoryokutai

熊本県益城町　吉海 雄大

⑤地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
熊本県芦北町
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
熊本大学 特定事業研究員
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

熊本地震が発災した2016年から現在に至るまでに、地元大学の研究員として復興の現場で活動をしてきました。その活動も日常的な住民の方とのコミュニケーションから復興事業へのお手伝いなど多岐にわたってきました。足繁く益城町に通うなかで、インフラ復旧と住まいの再建が復興のゴールになっているのではないかと課題が芽生え、大文字の復興ではない、復興(地域づくり）の在り方を提示する必要があるのではないかと考えました。地域おこし協力隊として、この先10年の暮らしのイメージを地域と一緒に模索しながら、培った経験を地域により還元できる手段として、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

大文字の復興ではなく、地域に根ざした復興(地域づくり)を目指したいと考えています。そのために、断片的になりがちなハード事業とソフト事業の両方に関わりを持ちながら、軸の通ったまちづくり活動の実践を続けていきたいと考えています。地域と協働した活動の結果、町内の暮らしに少しでも貢献できたらと思います。
地域おこし協力隊としての活動の傍ら、益城町で建築デザインの事務所も開設しました。任期後も継続して公共事業へのデザイン・発注協力、地域まちづくりへの伴走支援を行いながら、民間事業者としても積極的な活動を目指しています。半民半官としての動きを維持しながら、町内外、県外にも活動を徐々に広げたいと思います。

活動内容

●公共空間活用プロジェクト

熊本地震後に整備された公共空間を地域の方に愛してもらえるように誕生(竣工)をお祝いしたり、日常の延長につながるイベントを実施したり、地域と協働した活動を行っています。その一部は、熊本地震からの記憶の継承としても位置づけられています。

△木山橋開通記念イベント

△熊本地震4.14のつどい

●公共事業デザインプロジェクト

公共性の高い事業は関係者も多く、未来形を想像するのが困難です。関係の目線を共有するために、与件をヒアリングし、未来のイメージを描き、事業を整える取組みを行っています。イメージはあくまでたたき台で、未来のために訂正を繰り返します。

△K地区施設周辺整備PJ

△T地区広場整備PJ

●まちづくりスクールプロジェクト

まちづくり活動は個人の想いの強さから始まります。一方で、多くの知恵や協力のうえで成り立つとも考えています。企画立案の視野を広げ、実践の質を高めるプログラムの開発を行っています。23年度初開講なので結果は未だですが、持続的な活動を目指しています。

スクール受講のポイント
1）まちづくりへの想いを持った仲間に出会える
2）まちづくりの最前線に関わる講師と学びを高めることができる
3）企画立案の視野を広げ、実践の質を高める技術が身につく
4）提案で終わるだけでなく、実施まで目指す
5）協力隊が伴走支援を行う

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））yoshiikai.yuta@gmail.com
（電話番号（職場[復興まちづくりセンターにじいろ]））096-284-1711
※普段は復興まちづくりセンターにじいろを拠点にしています。
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊Instagram）右図QRコード
（協力隊FB）https://www.facebook.com/profile.php?id=100082493079756

MASHIKI_KYORYOKUTAI

大分県大分市　中村　浩人

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
大阪府藤井寺市
【転出元】
大阪府茨木市
【前　職】
・建設会社勤務
・大手テーマパーク管理業務
・ルワンダで活動
【活動時期】
R3.4～R5.3

協力隊に応募したきっかけ

子供たちも独立し、好きな場所で好きなことをして暮らしていきたいという思いがあり、夫婦ともに温泉が大好きなため、大分県への移住を考えていたところ、大分市の地域おこし協力隊の募集を知りました。

これまで従事してきた建築関係のことやボランティア活動、友人を集めて行ってきたイベント活動など、経験を活かして町おこしやコミュニティ活性化に役立つことが出来ればと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

退任後はそのまま大分市大南地域に住んでいます。

任期中に連携して活動していた戸次本町街づくり推進協議会へ入会、紹介いただいた会社へ就職し、引き続きイベント活動やボランティア活動など、地域・社会貢献活動を主に行っています。

活動内容

●イベントの開催など

「戸次本町つきいちマルシェ」
大南地域の特産品、野菜、加工品などを販売する朝市

「蔵（くら）シックコンサート」
蔵ならではの響きで生演奏を楽しめる帆足本家酒造蔵でのコンサート

「戸次本町クロスロードマルシェ」
ルワンダを中心とした多国籍イベント
コンサート、アフリカルワンダのスラムでのお話、アーティストのライブペイント、色々な国の料理、雑貨など多種多様のお店が出店

「戸次本町まちなみ探検隊」
子どもたちに戸次本町のまちなみや、街の人などをデジタルカメラで撮影してもらい、趣のあるまちなみとカメラに興味を持っていただくワークショップ

●地域間交流など

・愛媛県伊方町へ視察
…交流を図り、相互に地域の魅力を発信
・愛媛県伊方町のマルシェ出店
…戸次ごんぼの会商品販売や大分市観光PR

連絡先

【メディア等の取材連絡先（個人）】
（メールアドレス）hirotonakamura3939@gmail.com
（電話番号）080-3591-7352

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）大分市地域おこし協力隊
https://www.facebook.com/oitashichiikiokoshikyouryokutai

鹿児島県南さつま市　橋口　里菜

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
大分県大分市
【転出元】
大分県大分市
【前　職】
ゼネコン　施工管理
【活動時期】
R5.1～R7.12

協力隊に応募したきっかけ

前職は建設業に携わっており、仕事をしていく中で自分の手でものづくりがしたいと思うようになりました。元々田舎暮らしに興味があったのもあり、漠然と「古民家再生とかいいな～」っと思っていたタイミングで、協力隊制度を教えてもらい調べてみると、ちょうどその時期に南さつま市がコミュニティ大工（まちづくりの視点で行う空き家再生）の募集しており、応募を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

まずはミッションである「おためし住宅（移住体験施設）」を地域と連携してつくることでコミュニティ形成をするとともに、地域の方に空き家問題や人口減少への関心を高めてもらえるようにしたいです。その中で自分のスキルを磨きつつ新たな技術の習得、コミュニティ大工のノウハウを培い、任期後の生活に活かしていければと思います。

活動内容

●空き家を活用したおためし住宅（移住体験施設）

地域の空き家を改修し、移住希望者向けのおためし住宅のオープン・運営を行います。住宅機能だけではなく、イベントスペースも同時に整備することで、地域住民と移住者をつなげる拠点となるように計画しています。

●観光と暮らしの情報発信（協力隊新聞の発行など）

豊かで美しい自然と地域に根付いた行事、観光情報をSNSを中心にPRしています。移住者側の目線で、外部への発信はもちろんのこと、地域住民に向けても発信（協力隊新聞の発行など）することで、地域の魅力を再発見してもらえるように努めています。

●”トゥクトゥク“を利用したPRと事業

南さつま市の協力隊は 東南アジアでお馴染みの三輪自動車タクシー「トゥクトゥク」を公用車としており、“動く広告”の役目も担っています。隊員の移動だけではなく、今後は移住者向けツアーの移動車や地域交流イベントなど、活躍の場が増える予定です。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））minamisatsuma.kyoryokutai1@gmail.com
（電話番号（個人or職場））0993-67-0303(清原地区公民館)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chiiiiikiokoshi_373stm/
（Facebook）https://www.facebook.com/chiiiiikiokoshi373stm

(ポッドキャスト)

鹿児島県南さつま市　堀内　元気

地域コミュニティ活動

基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
神奈川県平塚市
【転出元】
東京都調布市
【前　職】
コミュニティFMラジオ局
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

3人目の子どもが生まれたタイミングで妻の故郷である鹿児島への移住(嫁ターン)を決断しました。前職のラジオ局では地域に根付いた情報発信の他、観光番組を担当しており、観光や地域情報の発信に興味をもっていた中「情報発信ディレクター(移住定住促進・観光情報)」をミッションとした協力隊の募集を南さつま市が実施していたため、応募しました。

また、家族だけでなく、鹿児島に住む妻の知人のアドバイスも後押しになりました。

今後の抱負･任期後の目標

担当するエリアは限界集落で、現時点で世帯数とほぼ同数の空き家が存在します。「10年後、ここはどうなっているか・・・」という地域住民の不安を少しでも解消できるよう、空き家を有効活用し移住者増を目指します。そのためには『この地のファンをつくること』と考え、この地にしかない、『まだ知らない鹿児島』を発信していきます。

任期後はビジターが留まれるような観光拠点を手掛けたいです。宿泊に加え、飲食・買い物・観光アクティビティが集約された、地域にも愛される施設が目標です。

活動内容

●空き家調査と空き家MAPの作成

活動地域の空き家を調査し、独自の「空き家MAP」を作成しています。目視による建物の状態確認の他自治会長や地域住民から家主や管理者の連絡先等を入手し、空き家の有効活用を相談/交渉しています。

●観光と暮らしの情報発信

豊かで美しい自然と地域に根付いた行事、観光情報をSNS(インスタグラム・フェイスブック・アメブロ)を中心にPRしています。また、私自身が子育て世代のため、学校や病院・買い物など、不便な面も含めリアルな子育て生活/暮らしを発信しています。

●”トゥクトゥク“を利用したPRと事業

南さつま市の協力隊は 東南アジアでお馴染みの三輪自動車タクシー「トゥクトゥク」を公用車としており、“動く広告”の役目も担っています。隊員の移動だけではなく、今後は移住者向けツアーの移動車や地域交流イベントなど、活躍の場が増える予定です。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））minamisatsuma.kyoryokutai2@gmail.com
（電話番号（個人or職場））0993-68-0606(久志地区公民館)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chiiiiikiokoshi_373stm/
（Facebook）https://www.facebook.com/chiiiiikiokoshi373stm

(ポッドキャスト)